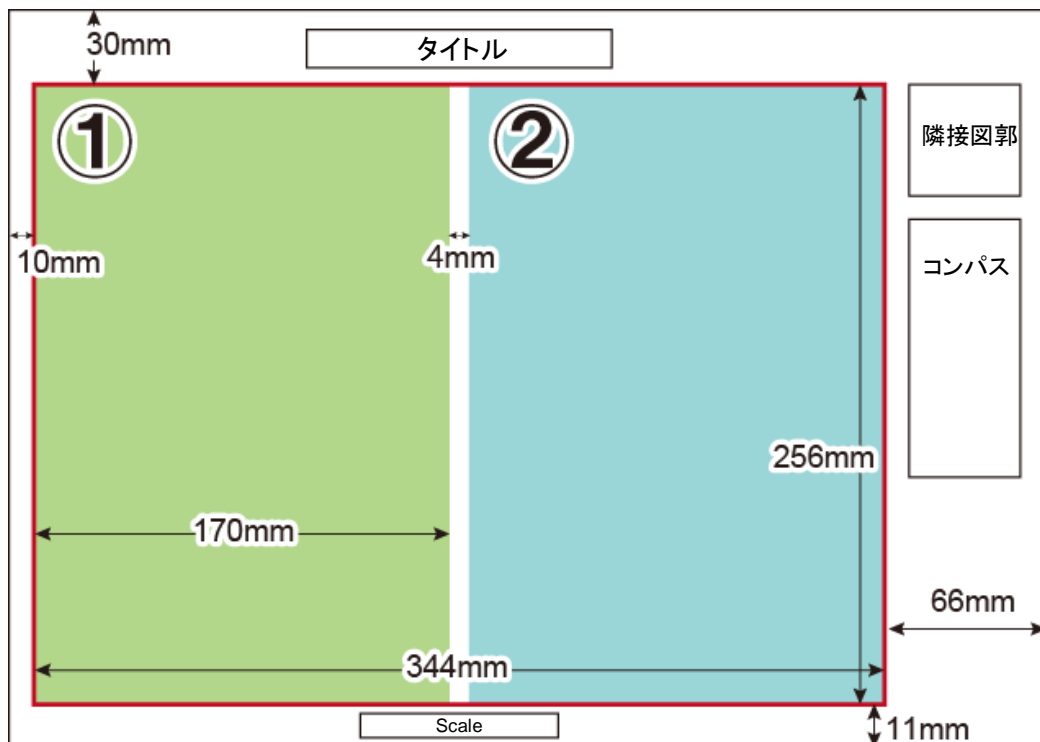


マルチプロジェクト印刷設定(矩形ポリゴン連続印刷版)

1枚の図面に複数のプロジェクトを印刷する場合、整飾プロジェクトに該当プロジェクトをはめ込む設定を行うことで、連続印刷も可能となります。

例として、A3横(420mm×297mm)の紙に整飾と二つのプロジェクトを当てはめた印刷設定を行います。

A3横(420*297) 1/1000 の図面設定



■印刷イメージ



画面①: ①旧台帳図.pcm

画面②: ②台帳図.pcm

画面③: 整飾.pcm

1.プロジェクトの設定

2つのプロジェクトを一つの整飾に当てはめて印刷する場合、印刷対象プロジェクトの他に、矩形印刷範囲指定用のメッシュポリゴンプロジェクト、整飾プロジェクトと合わせて、合計4つのプロジェクトを作成します。

サンプルデータを利用して、矩形印刷範囲指定用のメッシュポリゴンプロジェクトを作成・設定します。

■ サンプルデータ

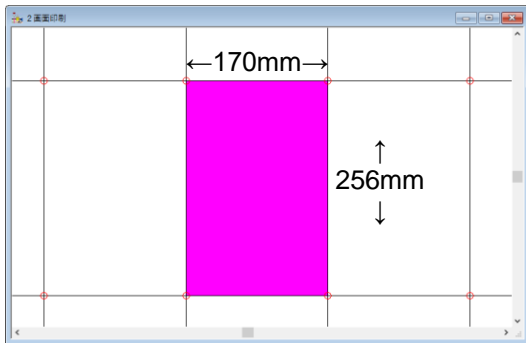
ファイル名	プロジェクト名	備考	座標系	縮尺
①旧台帳図.pcm	旧台帳図	p.1①の枠に表示する地図データ	平面直角座標系	1/2500
②台帳図.pcm	台帳図	p.1②の枠に表示する地図データ	平面直角座標系	1/2500

■ 作成するデータ

ファイル名	プロジェクト名	備考	座標系	縮尺
メッシュ.pcm	2画面印刷	[矩形ポリゴン連続印刷]を実行するための矩形ポリゴン(メッシュ)を設定したデータ	平面直角座標系	1/2500

[矩形ポリゴン連続印刷]メニューを実行するための「メッシュ」データのプロジェクトを作成します。

「2画面印刷」プロジェクトの1メッシュのサイズは、出力枠(p.1の①枠)と同じサイズで作成します。



1メッシュの大きさが印刷時に170mm×256mmのメッシュプロジェクトを作成します。

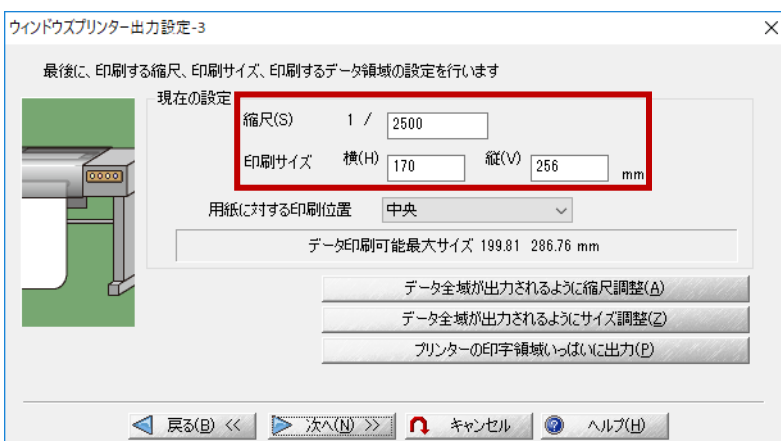
1. 「①旧台帳図.pcm」を開きます。

[印刷]-[ウィンドウズプリンター印刷設定]メニューを実行し、印刷サイズの設定を行います。

[ウィンドウズプリンター出力設定-1]は、何も設定せずに【次へ】ボタンをクリックします。

[ウィンドウズプリンター出力設定-2]は、「いいえ、整飾機能は使いません」を選択し、【次へ】ボタンをクリックします。

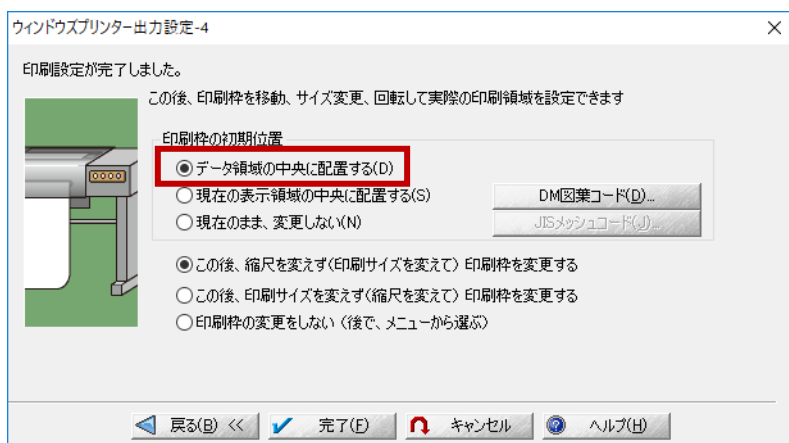
[ウィンドウズプリンター出力設定-3]で、縮尺とサイズを以下のように設定し、【次へ】ボタンをクリックします。



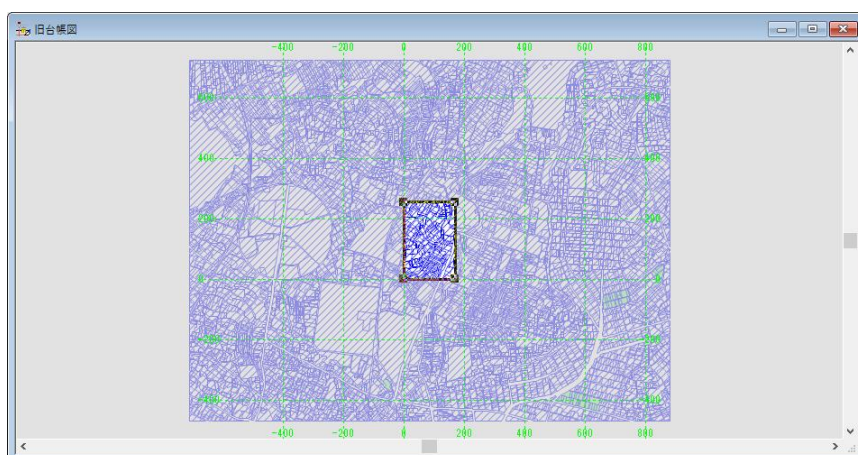
■縮尺: 1/2500

■印刷サイズ: 横 170、縦 256

2. [ウィンドウズプリンター出力設定-4]で、「データ領域の中央に配置する」を選択し、【完了】ボタンをクリックします。



3. 設定したサイズの印刷枠が表示されます。

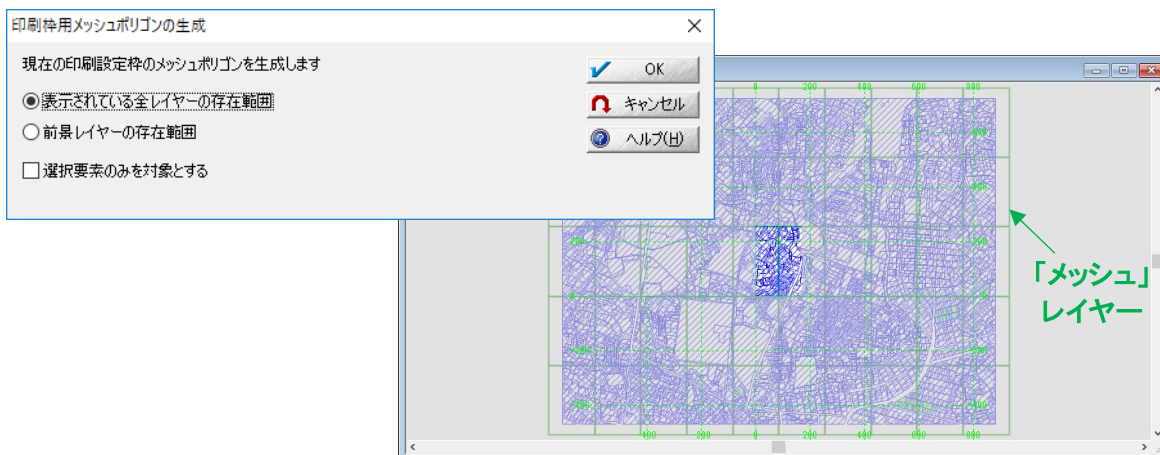


4. [印刷]-[印刷枠のメッシュポリゴン生成]を実行します。

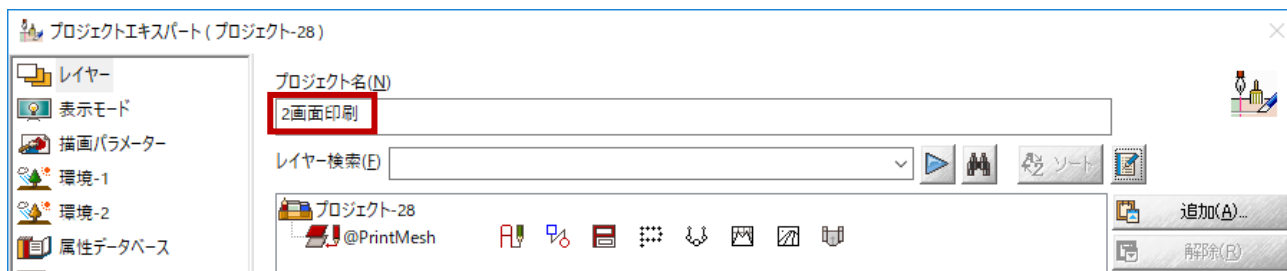
「表示されている全レイヤーの存在範囲」を選択して【OK】ボタンをクリックすると、データ領域を印刷枠サイズでメッシュ化した「@PrintMesh」レイヤーが作成されます。

「@PrintMesh」レイヤーを新規プロジェクトに移動させて、矩形印刷範囲指定用のメッシュポリゴンプロジェクトを作成します。

[印刷]-[ウィンドウズプリンター印刷モード]で、印刷モードを解除します。



5. [ファイル]-[新規作成]-[プロジェクト]を実行します。プロジェクト名を「2画面印刷」※とし、【追加】ボタン-[現在のプロジェクトから]-[旧台帳図]-[@PrintMesh]を選択します。※プロジェクトのタイトルが印刷時のタイトルになります。

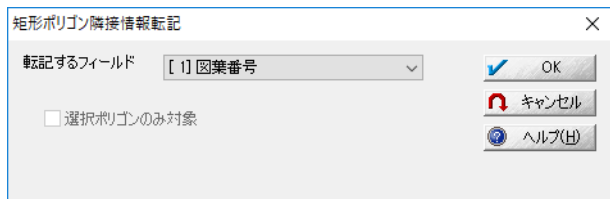


6. 出来上がったプロジェクトを、「メッシュ.pcm」として保存します(ここでの名前はなんでも構いません)。 「①旧台帳図.pcm」の「@PrintMesh」レイヤーはプロジェクトから登録解除し、上書き保存します。
7. 「2画面印刷」プロジェクトのメッシュポリゴンに対して、印刷用(p.1の隣接図郭に表示する番号)の内部属性を設定します。[レイヤーエキスパート]-[ポリゴン]パネルで、「メッシュ ID」フィールドの名称を「図葉番号」フィールドに変更します。

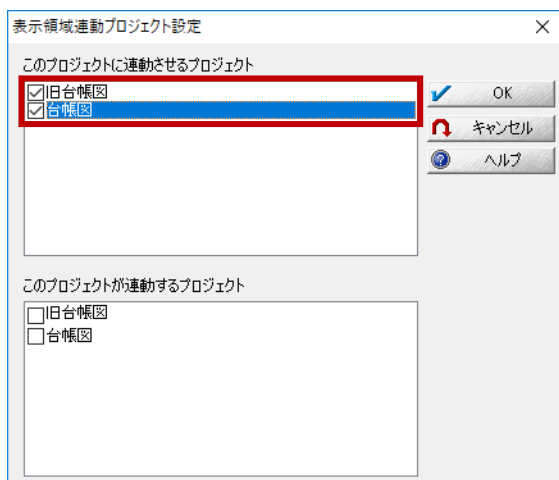
※実際のデータでは、正しい図葉番号等を入力してください。

8. [印刷]-[矩形ポリゴン隣接情報転記]を実行して、8の情報を隣接ポリゴンにも設定します。

※8、9の設定は、p.13の「整飾プロジェクトの差込 DB をこのポリゴンの内部属性 DB と置き換える」で利用します。



9. 「2画面印刷」プロジェクトに同時に印刷する2つのプロジェクトを「表示領域連動プロジェクト」として登録します。すでに開いている「①旧台帳図.pcm」に追加して、「②台帳図.pcm」を開きます。「2画面印刷」プロジェクトをアクティブにして、[設定]-[表示領域連動プロジェクトの設定]メニューを実行します。「このプロジェクトに連動させるプロジェクト」の全てのプロジェクトにチェックを入れて、【OK】ボタンをクリックします。



10. 「2画面印刷」プロジェクトの作成・設定が終了しましたので、プロジェクトは上書き保存して閉じます。

2.整飾プロジェクトの設定

整飾プロジェクトを作成し、2画面印刷用の設定を行います。

■作成するデータ

ファイル名	プロジェクト名	備考	座標系	縮尺
整飾.pcm	整飾	整飾プロジェクトデータ	ペーパー座標系	1/1000

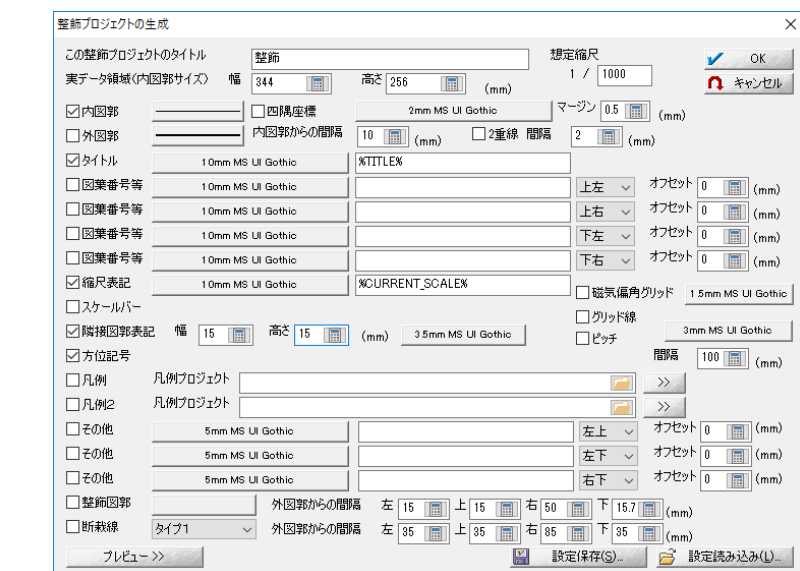
整飾プロジェクトには以下の3つのレイヤーを用意します。

■作成するレイヤー

レイヤー名	用途・説明
整飾	前景レイヤーとして保存する。1つ目の印刷枠と同じ図郭にする
@旧台帳図	1つ目の印刷枠(左側)。レイヤー名の先頭に「@」(半角)を付ける
@台帳図	2つ目の印刷枠(右側)。レイヤー名の先頭に「@」(半角)を付ける

1.整飾プロジェクトの作成

1. [ファイル]-[システムツール]-[プロジェクト]-[整飾プロジェクト作成]メニューを実行し、下記のように設定し【OK】ボタンをクリックして、整飾プロジェクトを作成します。



■この整飾プロジェクトのタイトル: 整飾

■実データ領域(内図郭サイズ): 344×256(2つの地図すべてが入る紙サイズ p.1 赤枠)

■想定縮尺: 1/1000

■内図郭: ON

■四隅座標: OFF

■タイトル: ON、ここでは、MSUIゴシック 高さ10mmを設定。「%TITLE%」を設定。

■縮尺表記: ON、ここでは、MSUIゴシック 高さ10mmを設定。「%CURRENT_SCALE%」を設定。

■隣接図郭表記: ON、幅15、高さ15、ここでは、MSUIゴシック高さ3.5mmを設定

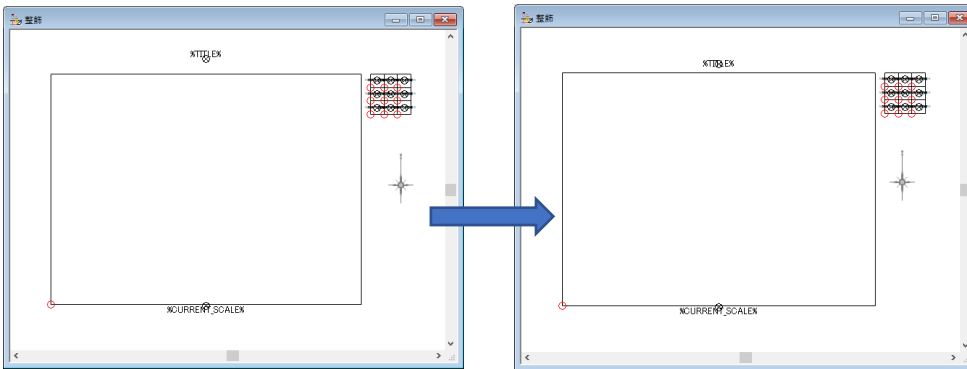
■方位記号: ON

ヒント集:【整飾プロジェクト】作成方法(メニューによる場合)

<https://www.mapcom.co.jp/support/hint/print/hint13.htm>

2. 出来上がった整飾プロジェクトの、タイトル位置・縮尺表示位置([作図]-[ポイント処理])、方位記号位置([表示]-[背景ピクチャーの移動・拡大・縮小])を調整します。

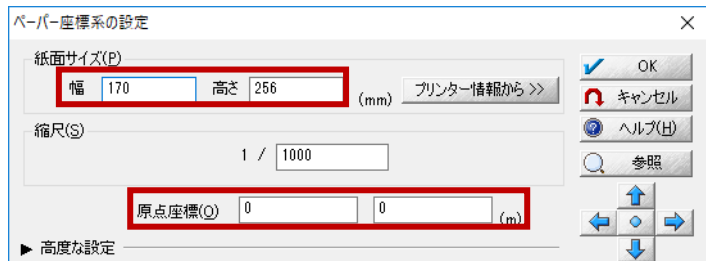
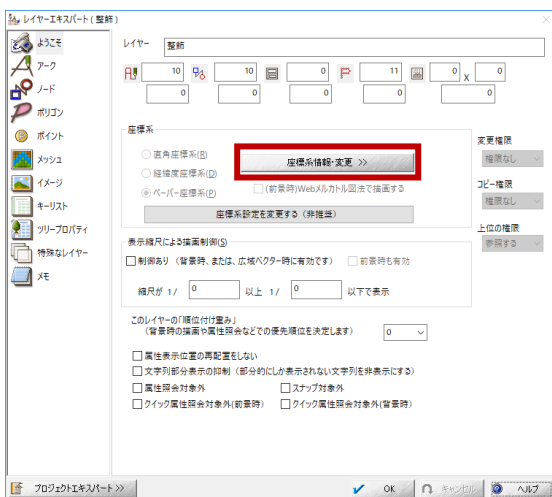
※整飾プロジェクトは[ウィンドウズプリンターの出力設定]で、「用紙に対する印刷位置:指定なし(左上よせ)」の設定で印刷できるように位置の調整を行う必要があります。→p.14 で設定します。



3. 「整飾」レイヤーの図郭を変更します。

[レイヤーエキスパート]-[ようこそ]パネルの【座標系情報・変更】、ボタンで、[ペーパー座標系の設定]ダイアログボックスを表示し、P.5 の表「作成するレイヤー」のレイヤーの「用途・説明」に合うように設定を変更します。

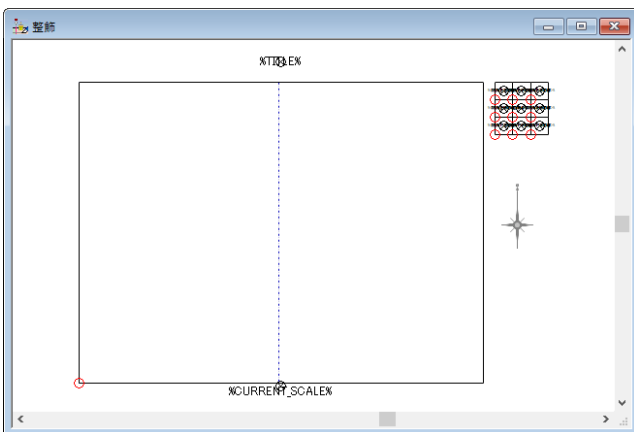
用途・説明:「整飾」レイヤー:前景レイヤーとして保存する。1 つめの印刷枠と同じ図郭にする



■紙面サイズ:幅 170×高さ 256(1 ページ目の緑枠一つ分の大きさ)

■縮尺:1/1000

■原点座標:0,0

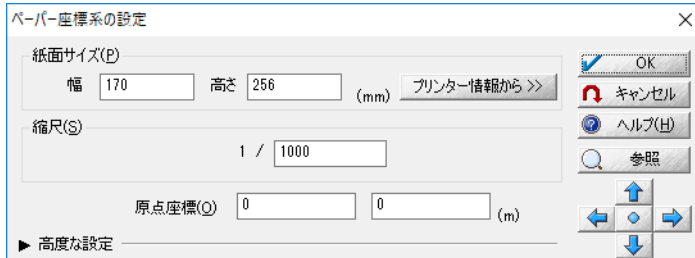


4. 「旧台帳図」、「台帳図」レイヤーの印刷枠を p.5 の用途に従って作成します。

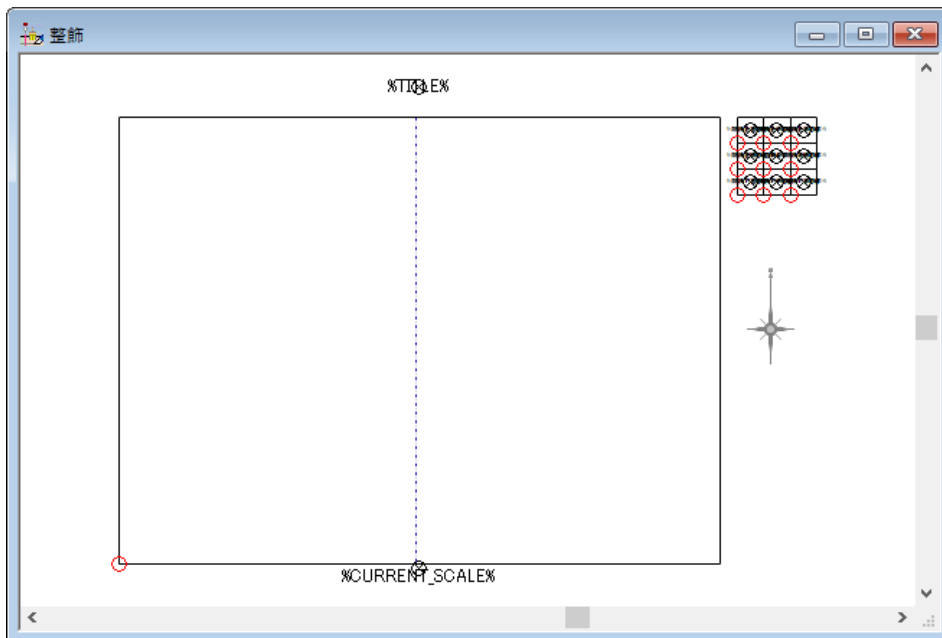
① 「@旧台帳図」レイヤーを作成します。[プロジェクトエキスパート]を開き、「レイヤー」パネルの【追加】ボタンで、
[新規レイヤー作成]を実行します。

レイヤー名を「@旧台帳図」と設定し、【次へ】ボタンをクリックします。

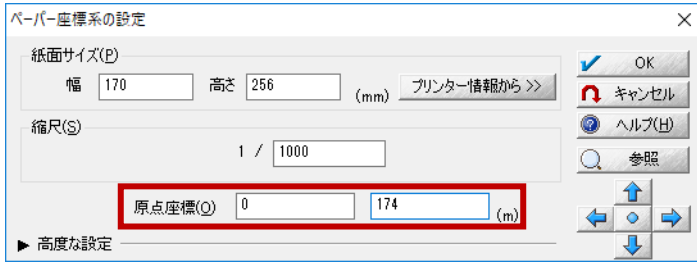
② このレイヤーは、「整飾」レイヤーと同じ設定を行います。【設定】ボタンをクリックします。



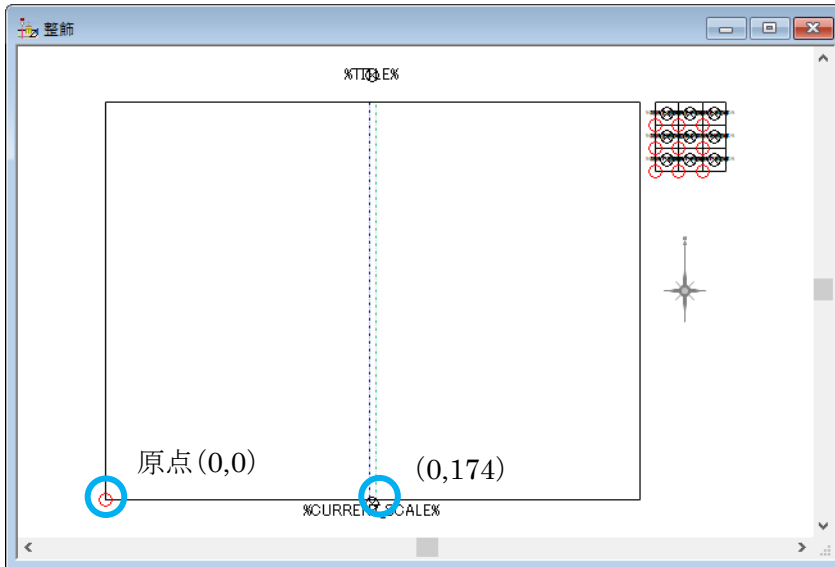
このままの設定で【OK】ボタンをクリックし、[新規レイヤー設定-2]の【完了】ボタンをクリックして、「旧台帳図」レイヤーの作成を終了します。



- ③ 「@台帳図」レイヤーを作成します。上記①と同様に新規レイヤーを作成します。紙面サイズは②と同じで、原点座標は「0,174」とします。



(ここでは、4つの地図すべて入る紙サイズの左下を原点0として、170mm+余白4mm=174)



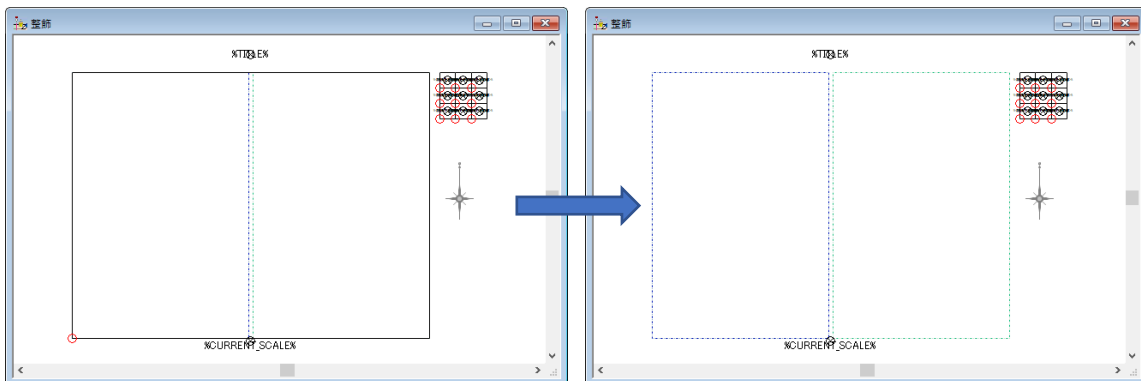
※原点座標は m 単位なので、縮尺が 1/1000 でない場合は、原点座標の計算が必要です。

例: 1/2500 で、原点の値を 131mm とする場合

$(125\text{mm} + 6\text{mm}) \times \text{縮尺 } 2500 \div 1000\text{mm} = 327.5\text{m}$ 、で「327.5,0」とします。

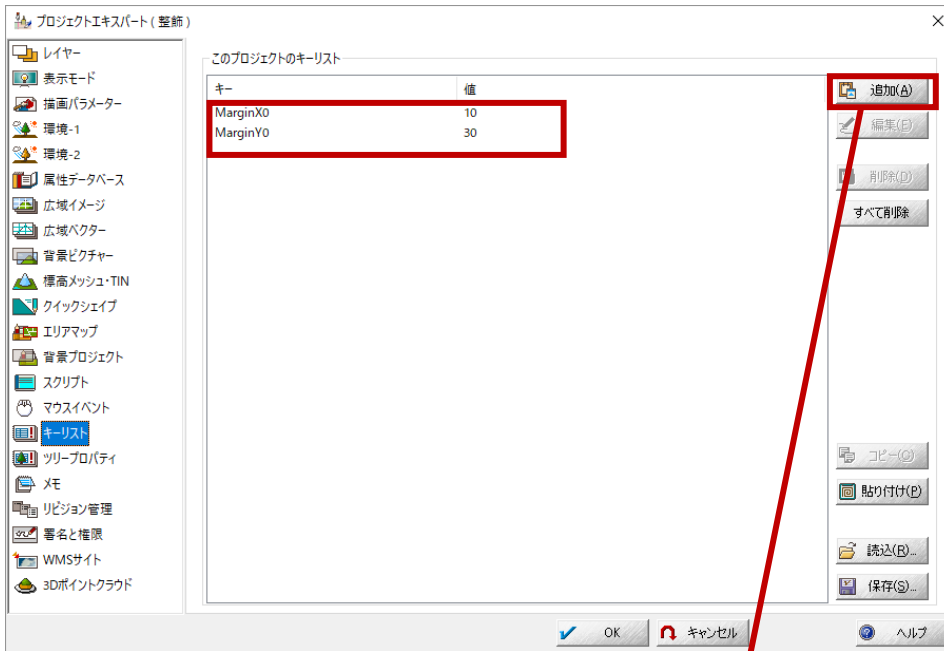
- ④ 「@台帳図」レイヤーの作成を終了すると、以下のようになります。

「整飾」レイヤーの内図郭アーク線は必要ないので、削除します。

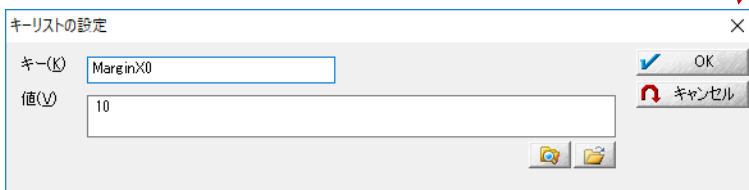


「整飾」レイヤーを前景に設定して[ファイル]-[名前を付けて保存]メニューを実行します(名称例: 整飾.pcm)。

5. マルチプロジェクト印刷の場合「整飾」プロジェクトに対し「キーリスト」での余白の設定が必要になります。
 [プロジェクトエキスパート]-[キーリスト]を開き、以下の設定を行います。
 ここでの設定は、p.1 の配置の通り、地図印刷範囲(赤枠)から左余白 10mm (MarginX0:10)、上余白 30mm (MarginY1:30)という設定を行っています。



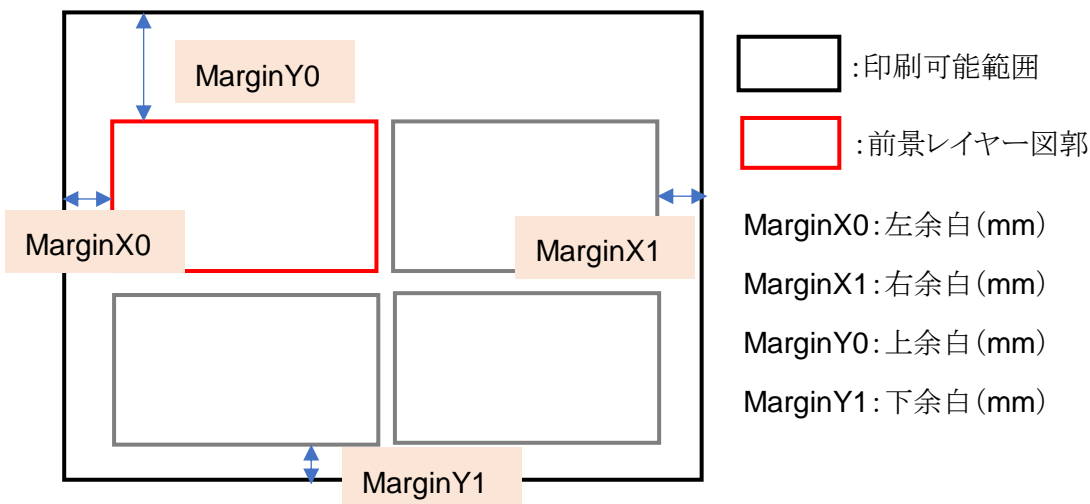
【追加】ボタンをクリックして、[キーリストの設定]を行います。



キーリストには以下の 4 つの設定を行います(余白の値は p.1 参照)。

	左余白	上余白	右余白	下余白
キー	MarginX0	MarginY0	MarginX1	MarginY1
値	10	30	66	11

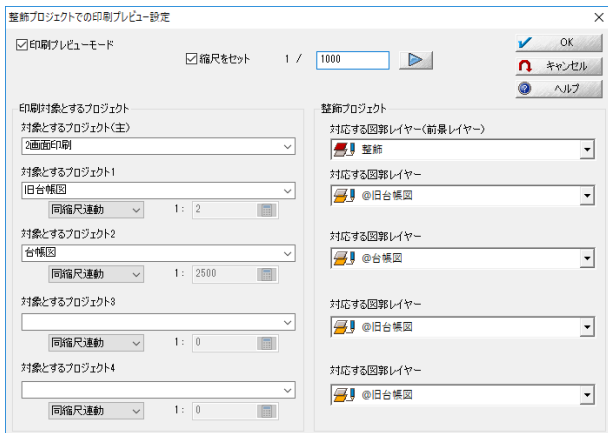
余白設定のキーは、以下を参照してください。



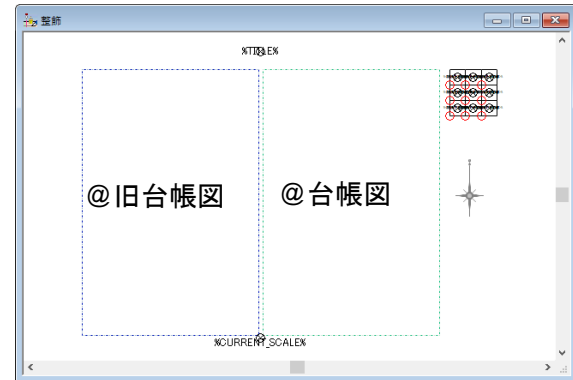
2. 整飾プロジェクトの設定

「1. 整飾プロジェクトの作成」で作成した2つの印刷枠(「@旧台帳図」レイヤー、「@台帳図」レイヤー)にどのプロジェクトを当てはめるかを設定します。

1. 「整飾」プロジェクトに対し[印刷]-[整飾プロジェクトプレビュー]-[整飾プロジェクト印刷プレビュー設定]メニューを実行し、プレビュー設定を行います。このメニューでは最大4種類のプロジェクトまで登録できます。



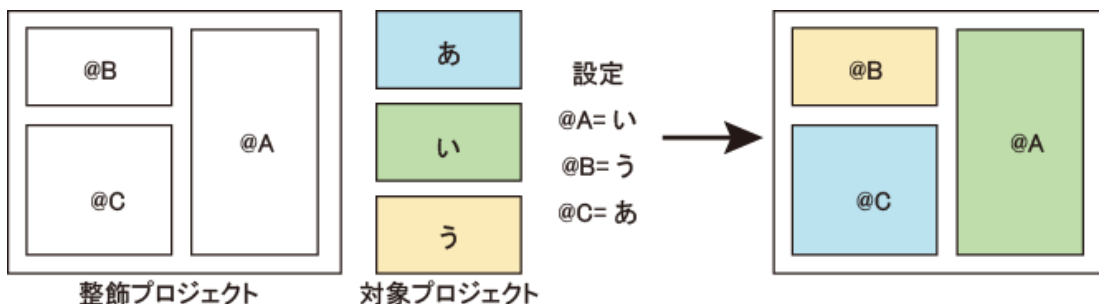
「整飾」プロジェクト



- 印刷プレビューモード: ON
- 縮尺をセット: ON、1/1000
- 対象とするプロジェクト(主): 2画面印刷(メッシュ.pcm)
メッシュポリゴンのプロジェクトを指定(開いている必要があります)
 - 対応する図郭レイヤー(前景レイヤー): 「整飾」レイヤー
整飾プロジェクトの前景レイヤーを指定
- 対象とするプロジェクト 1: 旧台帳図
整飾プロジェクトの「@旧台帳図」レイヤーの枠に当てはめるプロジェクトを指定(開いている必要があります)
 - 対応する図郭レイヤー: 「@旧台帳図」レイヤー
整飾プロジェクト上の印刷位置レイヤーを指定
- 対象とするプロジェクト 2: 台帳図
整飾プロジェクトの「@台帳図」レイヤーの枠に当てはめるプロジェクトを指定(開いている必要があります)
 - 対応する図郭レイヤー: 「@台帳図」レイヤー
整飾プロジェクト上の印刷位置レイヤーを指定

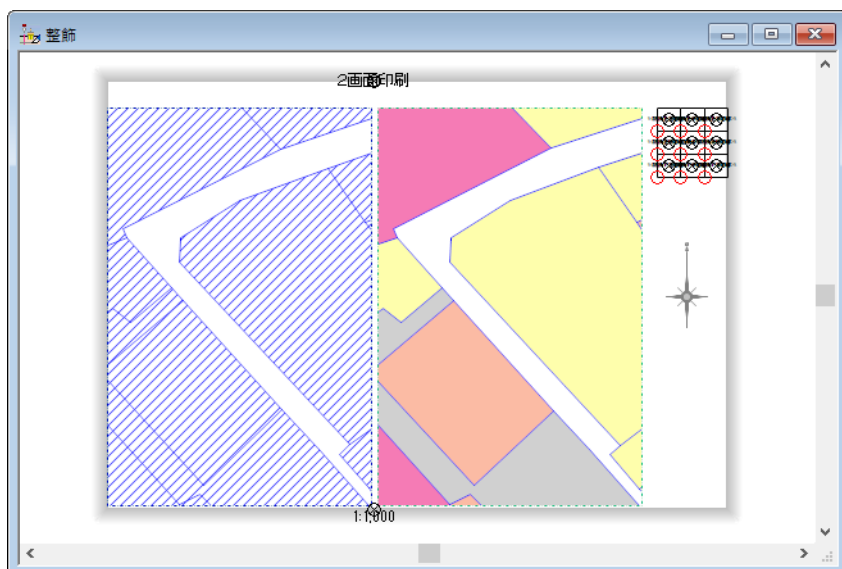
✚ 整飾プロジェクトと、印刷位置の関係について

整飾プロジェクトの「@」がついたレイヤーの図郭が「対象とするプロジェクト」で選択されたプロジェクトを印刷する位置になります。番号によって位置が決まるのではなく、「対応する図郭レイヤー」に設定された位置に「対象とするプロジェクト」で設定されたプロジェクトを印刷します。ただし、矩形の範囲は「対象とするプロジェクト(主)」の「前景レイヤー」サイズに依存します。



2. 【OK】ボタンで[整飾プロジェクトでの印刷プレビュー設定]ダイアログボックスを閉じます。

指定したプロジェクトがそれぞれの枠に当てはめてプレビューされます。[表示モード]で、ポイント位置やノード形状を非表示にしておくといいでしょ。

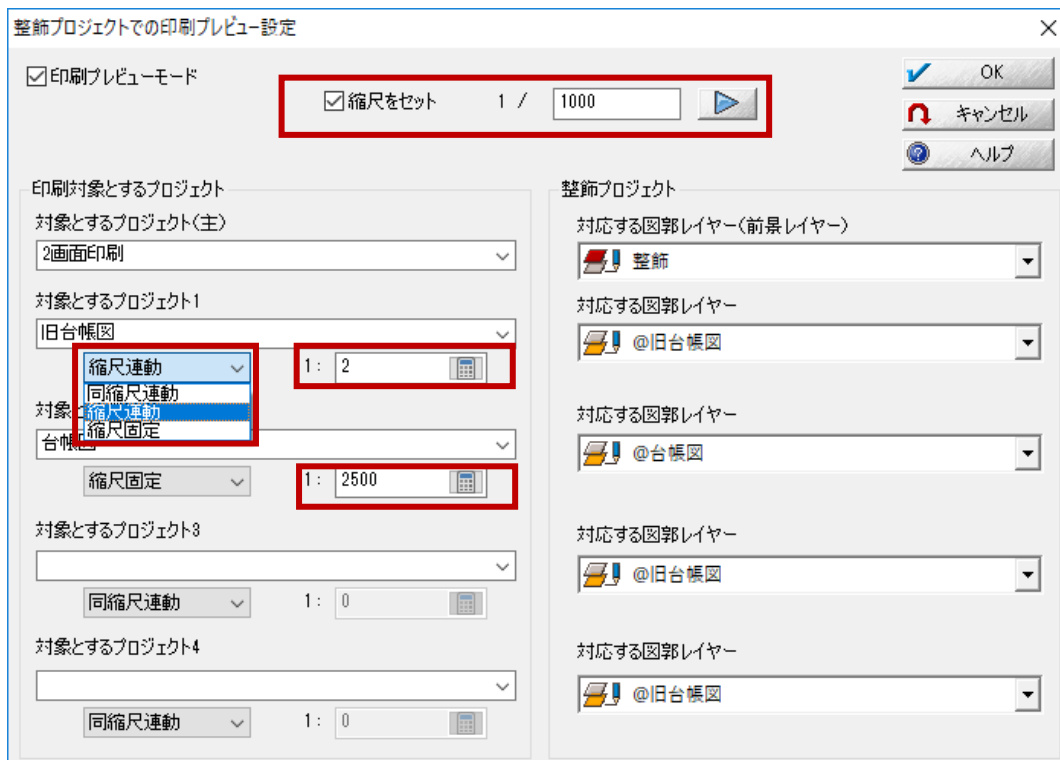


この状態で整飾プロジェクトを保存し、閉じます。

各プロジェクトの縮尺について

縮尺の指定方法は以下の3通りが選択できます。

- 同縮尺連動: 「縮尺をセット」で指定した縮尺と同じ縮尺で出力します。
- 縮尺連動: 「縮尺をセット」で指定した縮尺との比率で出力します。
 - 例: 1:2とした場合、「縮尺をセット」の値が 1/1000 の場合は 1/2000 で出力されます。
- 縮尺固定: 対象とするプロジェクトの印刷縮尺を「1:□」に設定した値で出力します。
 - 例: 1:2500とした場合 1:2500 で出力されます。

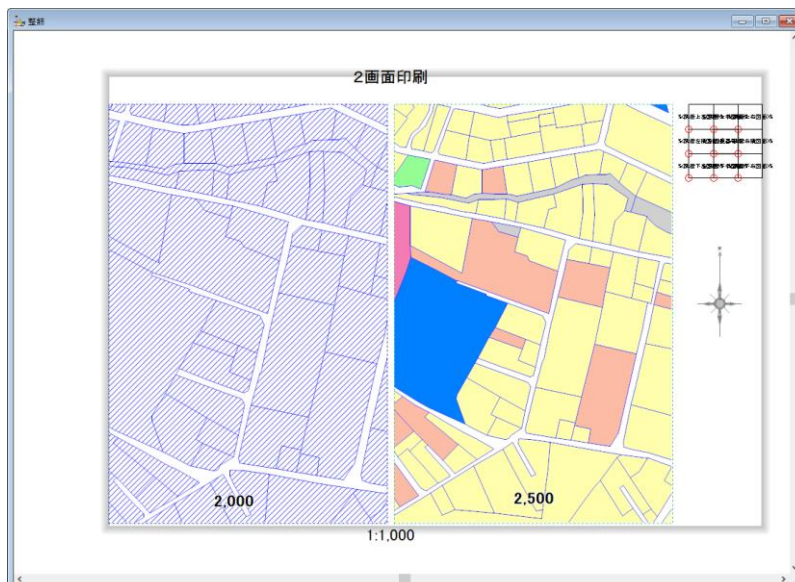


✚ 整飾プロジェクトの各図面に対する縮尺表示について

整飾プロジェクトに縮尺表記の予約語を付与すると、各図面の縮尺設定をそれぞれ表示できます。縮尺表記の予約語により、p.11「各プロジェクトの縮尺について」で設定した内容を確認できます。

予約語	意味
%SCALEDenomi%	前景レイヤーの縮尺分母
%CURRENT_SCALEDenomi%	印刷時の縮尺分母

それぞれ%SCALEDenomiN%、%CURRENT_SCALEDenomiN%と、プロジェクト番号を指定することで、異なる画面の縮尺を表記できます。ここで、Nは、「対象とするプロジェクト 1」～「対象とするプロジェクト 4」の数値「1」～「4」に対応しています。

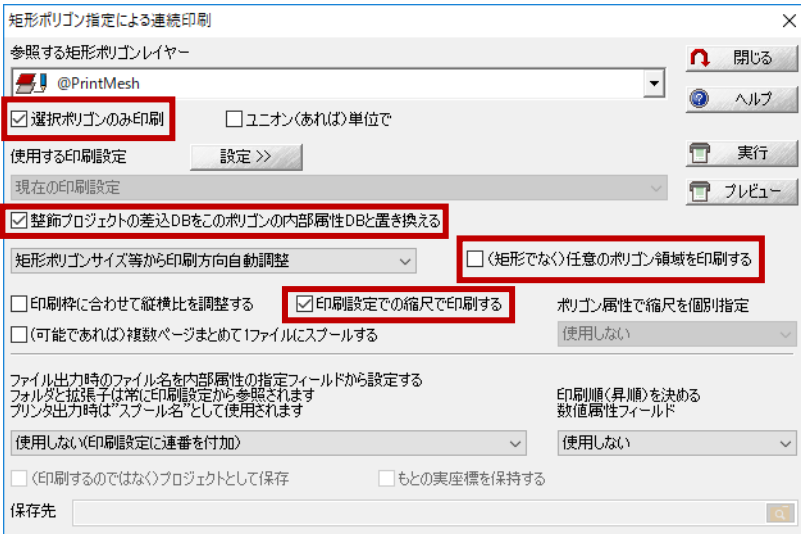


左図面(対象とするプロジェクト 1)に%CURRENT_SCALEDenomi1%、
右図面(対象とするプロジェクト 2)に%CURRENT_SCALEDenomi2%を設定
それぞれ縮尺連動、縮尺固定の値に従った縮尺が表記されていることも確認できます。

3.印刷

2 画面状態で印刷します。

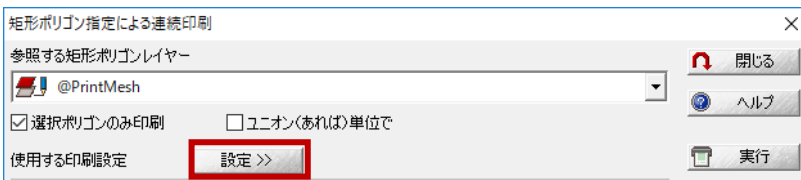
1. 「2 画面印刷」プロジェクト(メッシュ.pcm)を開き、印刷するメッシュポリゴンを選択します。
2. [印刷]-[矩形ポリゴン指定による連続印刷]メニューを実行します。



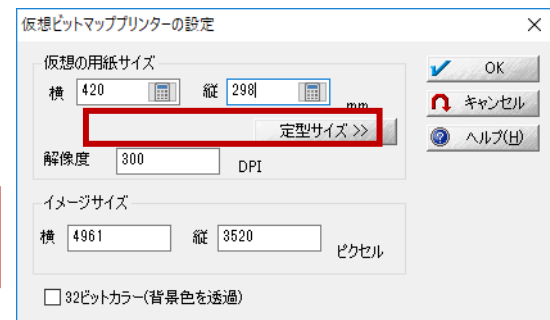
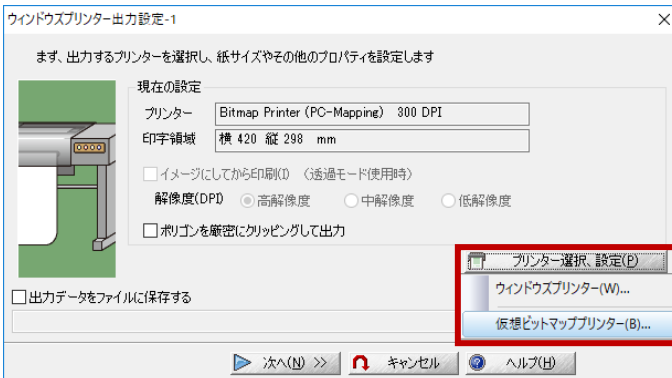
[矩形ポリゴン指定による連続印刷]ダイアログボックスで以下の設定を行います。

- 「選択ポリゴンのみ印刷」: ON
- 「(矩形ではなく)任意のポリゴン領域を印刷する」: OFF
- 「整飾プロジェクトの差込 DB をこのポリゴンの内部属性 DB と置き換える」: ON
- 「印刷設定での縮尺で印刷する」チェックボックス: ON

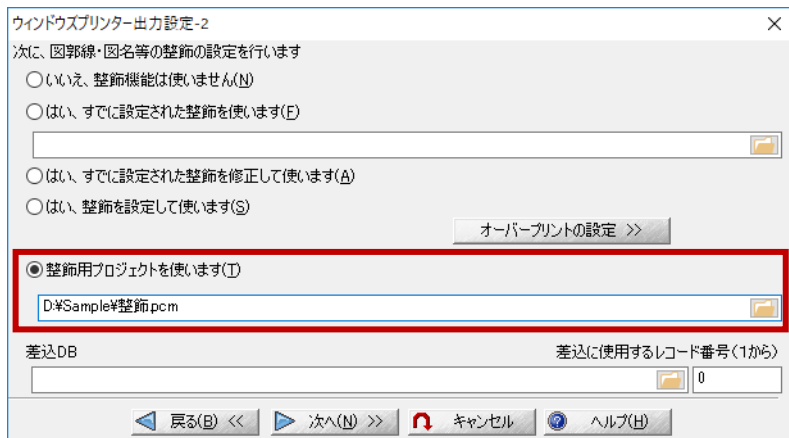
3. 「使用する印刷設定」の、【設定】ボタンをクリックすると、[ウィンドウズプリンター出力設定-1]ダイアログボックスが表示されます。



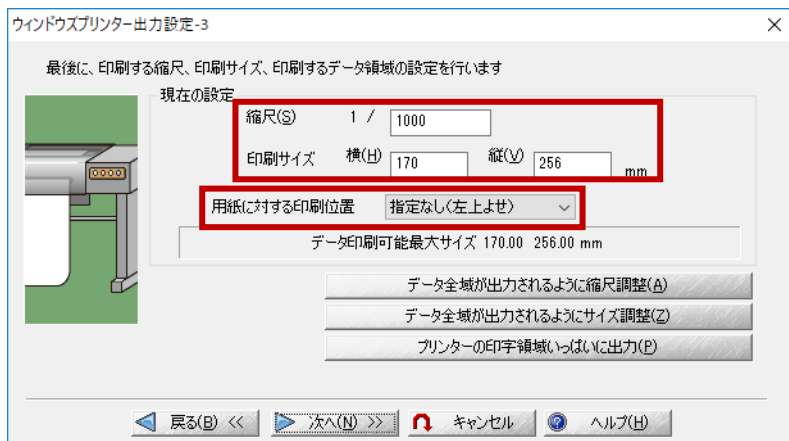
【プリンター選択、設定】ボタンをクリックして、[仮想ビットマッププリンター]を選択します。[仮想ビットマッププリンターの設定]ダイアログボックスで、仮想の用紙サイズを横 420、縦 298、解像度 300 と設定し、【OK】ボタンをクリックします。[ウィンドウズプリンター出力設定-1]の【次へ】ボタンをクリックします。



4. [ウィンドウズプリンター印刷設定-2]ダイアログボックスで、「整飾用プロジェクトを使います」ラジオボタンを ON にして、作成した整飾プロジェクトを指定します。



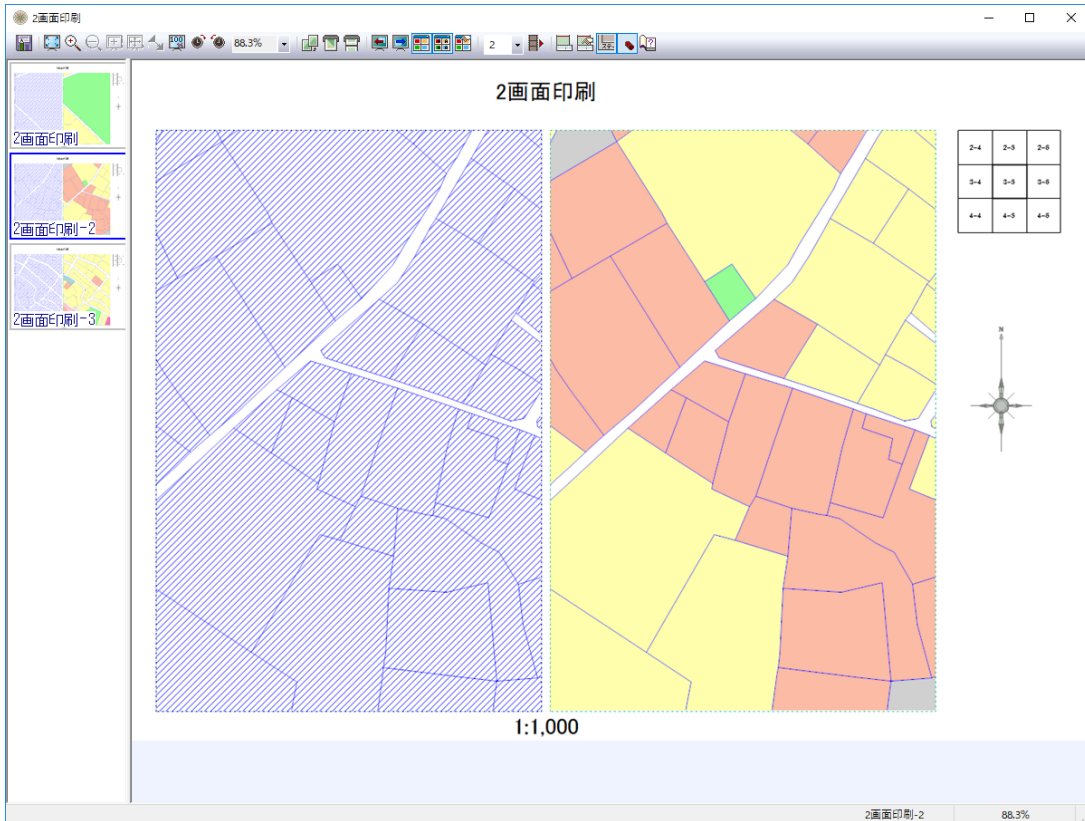
5. 【次へ】ボタンをクリックし、[ウィンドウズプリンター出力設定-3]ダイアログボックスで、縮尺を「1/1000」に設定します。印刷サイズは、整飾プロジェクトのレイヤーのサイズ「横:170、縦:256」を入力します。使用する印刷設定は、「用紙に対する印刷位置」を「指定なし(左上)」としてください。



6. 【次へ】ボタンをクリックすると、[矩形ポリゴン指定による印刷設定]ダイアログボックスに戻りますので、【実行】ボタンをクリックすると、設定した内容で、連続印刷を実行します。

■印刷イメージ

この画面は【プレビュー】ボタンで表示できます。



この例では、紙のサイズを420×297とし、仮想ビットマッププリンターの「420×297」サイズに出力するという設定を行っています。実際のプリンターの出力範囲を考慮して印刷枠を作成してください。

この例では、2画面印刷を例としていますが、最大4つまでの印刷設定が行えますので、下図のような印刷も行えます。

